

自ら学び 自ら鍛える

Team 北中

令和2年度 学校報 第11号 令和2年8月7日

発行責任者：瑞浪北中学校校長

担当者：瑞浪北中学校教頭



<合言葉> クリエイティブ瑞浪北中 2nd year

—学校の特長を確かなものにする年—

コロナ禍のがんばりと期待

校長

ようやく梅雨が明け、本格的な夏がやってきました。今年度は開始早々約2カ月間の休校があり、学校がその機能を果たせないまま時間だけが過ぎました。放送による始業式、2、3年生のいない入学式に始まり、宿泊体験学習の延期や中止、涙をのんだ中体連大会の中止など、新型コロナウイルス感染症に振り回された1学期でした。

そんな中、生徒たちは本当によく頑張りました。不安がぬぐいされない現実があるにもかかわらず、彼らは感染予防を心がけながらで日常を取り戻し、落ち着いた学校生活を作り上げました。時が過ぎるとともに生まれた状況変化や変更事項にも心乱すことなく対処し、無事1学期を終えることができました。現状を素直に受け止め、泰然自若として日常生活に取り組んできた生徒たちを、私は頼もしく思います。そんな彼らのコロナに負けない学校生活を1学期の締めくくりとして振り返ります。

真っ先に私が称（たた）えたいのは、急な変更や中止など受け入れ、誠実に努力し続けた3年生の姿です。

休校中、不安を抱く1年生に向けた3年生からのメッセージの中に、最高学年としての悲痛な思いを綴ったものがありました。

「私は小学校の頃から陸上をやっていました。（中略）この臨時休校中にも、一人で練習をし、全国大会に出場することを頭に描いていました。そんな中、『中体連全国大会中止』を聞きました。私は自分が思っていた以上にショックを受けたし、涙があふれてきました。」

全てに「最後」の二文字が付く中学3年には、「次」がありません。歴代の3年生たちが経験してきたように、生徒会執行部を中心にして、4月から学校を動かしたかったことでしょう。東京研修に行き、大都會で学び、ドイツニーランドで大いに楽しみたかったことでしょう。そして、部活動。最後の大会や最後の演奏会に、思う存分取り組みたかったことでしょう。

一生に一度の中学時代の締めくくりを万全の形で迎えられないことに対して、悲しさやつらさが生まれるのは当然ことです。しかし、3年生は現実をだれのせいにするともなく与えられた試練として受け入れ、全てのことに誠実に取り組みました。学習や進路についても不安は多いはず。しかし、それに動じることなく取り組んでいる3年生を、私は誇りに思います。

次に称えたいのは、コロナ状況下においても日常を大切にする1、2年生の姿です。

「新しい生活様式」という言葉が誕生したように、瑞浪北中学校においても昨年度とは違う生活が始まりました。朝の健康チェック、マスクの着用や手洗い消毒の徹底、3密の回避など、それらによって、昨年度とは違う時間帯、生活パターンが生まれました。授業においても、感染予防のためある程度の制約が生まれました。学校本来の動きが新型コロナウイルス感染症対策のために否応なしに変化し、これまでとの勝手の違いが、生徒の様子への不安定さにつながるのではないかと心配しました。

しかし、その心配は必要ありませんでした。感染予防に向けて取り組みながら、自分たちの生活を確実に作り上げました。とりわけ、教室環境について発揮された1、2年生の力は、3年生に引けを取らないものでした。整然と持ち物が並べられたロッカー。間隔をしっかりとって並んだ机やイス。いつでも気持ちよく使える黒板。汚れるべき雑巾が丁寧に掛けられ、美しさが際立った雑巾スタンド。……そこで生活や学習する1、2年生の姿も大変落ち着いていました。

質問タイムにも制約は生まれましたが、それでも「何とか理解したい」「疑問を解決したい」という気持ちを持ち、自分の判断で質問に足を運ぶ1、2年の生徒が多くいました。自主学習ノートにも積極的に質問事項を記入し、わかろうと努力した姿は実にすばらしいものでした。

1、2年生については宿泊体験学習が中止となりました。目標となる3年生の勇姿を見ることなく、次年度に向けて部活動をスタートさせることとなりました。目指すものに触れることができなくても、来年度に向けて気持ちを高めて突き進むことを1、2年生には期待します。

最後に、2学期以降の期待について記します。コロナのために今年度の学校生活が台なしになってしまったと決して思っていないけません。むしろ、コロナのお陰で新しいものを作りだすことができるとプラス思考で考えたものです。

学習。休校で実施できなかった時間数を何とかカバーしようと、新たな計画で職員は取り組んでいます。生

徒側にもこれまでと違う学習をさらに進める必要があるのではないのでしょうか。今まで以上に復習に力を入れる、時間をみつけてこれまで以上に質問する、問題集は三回やりきる……コロナを言い訳にしないように、新しい自分の勉強づくりに、今後もどんどん挑戦してほしいと願っています。

環境づくり。言語環境、生活環境にはまだまだ改善点があります。特に言語環境です。感染症防止のために大きな声であいさつすることを控える傾向にあります。気もちまで控えめになってしまっているようです。北中の生徒のあいさつは積極的だとは言いがたい部分があります。新しいあいさつを今後考える必要があるようです。

地域貢献。確かに地域に足を運ぶ機会はほぼなくなりました。だから今年度は地域貢献ができないと決めつけてはいけません。昨年度とは違う形での地域貢献をこれからみつけていきたいものです。それぞれの地区の文化祭では展示だけが実施されるようです。作品づくりに力を入れることが地域貢献になると言えます。

コロナ禍だから主体性が発揮できないのではなく、コロナ禍だからこそ主体性を発揮してほしいと思います。制約や制限はまだまだ続くことですが、今後も主体性を大いに発揮して、コロナ禍を吹っ飛ばす、そんなこれからにしてほしいと強く願っています。



9月の主な行事予定

日	曜	主な行事予定	部活動	下校時刻
1	火	短縮 1年内科検診 登下校指導	×	16:20
2	水	ノー残業デー	○	17:00
3	木		○	17:00
4	金		×	16:20
5	土			
6	日			
7	月	生徒会選挙告示	×	15:15
8	火	1年バレーボール大会 短縮日課	×	16:20
9	水	2年バレーボール大会 ノー残業デー	○	17:00
10	木	3年バレーボール大会	×	15:55
11	金	バレーボール大会予備日	×	16:20
12	土			
13	日			
14	月	一人一役の会	×	15:55
15	火	登下校指導 短縮日課	×	16:20
16	水	ノー残業デー	×	16:20
17	木	期末テスト①	×	14:55
18	金	期末テスト②	×	16:20
19	土			
20	日			
21	月	敬老の日		
22	火	秋分の日		
23	水	公約配付 ノー残業デー	○	17:00
24	木	立会演説会 投票	○	17:00
25	金	開票結果公表 1年心電図	×	16:20
26	土			
27	日			
28	月	委員長面接	×	15:15
29	火	委員長面接 短縮日課	×	16:20
30	水	教育長訪問 委員長面接 ノー残業デー	○	17:00

★9月は、前期をしめくくると同時に、後期のスタートに向けて準備を進める月になります。行事も、体育大会の代替としてのバレーボール大会、期末テスト、生徒会役員選挙、教育長訪問と、盛りだくさんになっています。実りの多い9月としたいですね。

★9月と言えど、まだまだ厳しい残暑が予想されます。学校では熱中症指数(WBGT)を測りながら活動の可否を決める等の取組をします。ご家庭でも水分をもたせる等の熱中症予防対策を、引き続きお願いします。

★「下校時刻」の欄にある時刻は、スクールバスが瑞浪北中を出発する時刻でもありません。部活動のある日、3年生のスクールバス利用者は、各教室で自主学習をしながらバスの出発時刻を待ちます。